

# なごみ

平成三十年四月 題字 周防 和衛

## 第十三回ご家族懇談会を開催いたしました。

四月八日に第十三回ご家族懇談会を開催致しました。例年同様、二部構成で開催し、午前の部では当施設の二〇十七年度（平成二十九年）の事業報告、二〇十八年度（平成三十



年）の事業計画を初め医務室、管理栄養士、生活相談員・ケアマネジャー、各委員会からも事業報告と活動方針についてご報告させて頂きました。

慣れな点があったかと思いましたが今後の職員の成長を見守って頂けたらと思います。第一部の終了後には例年同様に試食コーナーをご用意させて頂きました。お味の方は如何でしたでしょうか？今後も、ご利用者、ご家族のお声を取り入れ、より美味しく、楽しく食事を召し上がって頂けたらと考えています。ご意見、ご要望がありましたら気兼ねなく、職員にお伝えして頂ければと思います。

第二部では、各ユニットにて二〇十七年度（平成二十九年）の事業報告、二〇十八年度（平成三十年）の事業計画を報告させて頂いていただきまし



た。各ユニットでは、事業報告、事業計画だけではなく、スタッフ紹介や日々のご利用者の様子、レクリエーションの様子などをご覧頂きました。ご家族からのご意見やご質問を多く頂き、改善すべきところは改善し、好評であったところは継続していきたいと思えます。また、ご家族懇談会後に書いて頂いたアンケートをもとに、来年度のユニット報告に繋げさせていただきます。ご協力ありがとうございます。

最後になりましたが、新年度のお忙しい中、宝塚ちどりご家族懇談会にご参加頂き、誠にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後もより、ご利用者、ご家族共に満足して頂ける様、関係者一同取り組んでいきたいと思えます。これからどうぞよろしくお願致します。

（大亀）



■ユニットレクリエーション紹介

◇へバケツプリン

作り〳三月十六日

に桜台・雲雀丘ユニットで「プリンが好き」大きいプリンが食べたいわ」という意見をもとに、バケツプリンを作りました。プリンのは一・九〇と、一個で約二十人分。作りながら、職員もご利用者も完成を楽しみにしていました。完成したプリンをご覧になったご利用者からは「こんな大きいの見たことない」「わあ、かわいい」



など驚きの声が上がりました。生クリームやチョコシートを盛り付けて下さったご利用者からは、「こうしたらいいんよ」「すごい」「わあ、かわいい」等、様々な声を聞くことが



出来ました。出来上がったプリンを召し上がると「美味しい」「また食べたい」といった声上がり、盛り付けから召し上がるまで終始楽しませている様子でした。(大場)

◇へお花見

寒い季節も過ぎ去り、ようやく暖かくなってきました。鶴の荘・亀井荘ユニットでは三月下旬から四月の上旬にかけてお花見として近隣の公園へ外出しました。桜の開花が例年より早く、少し肌寒い風が吹いて、施設の外に出ると「寒いわ」と仰るご利用者もおられました。桜の花をご覧になると「いっぱい綺麗に咲いてるわ」と寒さを忘れてお花見を楽しまれました。施設に戻られる際には「綺麗な桜を見られ



て嬉しいわ」と笑顔になられていました。今後とも鶴の荘・亀井荘ユニットではご利用者に季節を感じて頂けるようなレクリエーションを企画・開催していこうと考えています。(安藤)

■委員会報告

◇給食委員会

給食委員会では、ミキサー・ムーア食に焦点を当てた彩りメニューを実施しています。今回は、春をイメージし彩りを考慮したメニューを考えました。彩りメニュー当日にラウンドを行い、感想を直接伺うことができました。ご利用者から「色がきれい」というご意見の他にも、職員から「春をイメージしたことが伝わった」との声もいただきました。今後

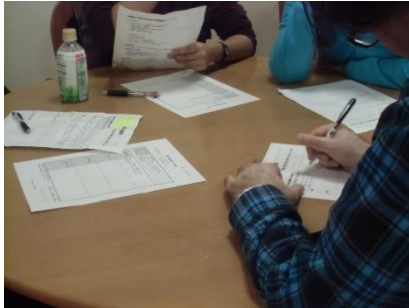


また、職員から「春をイメージしたことが伝わった」との声もいただきました。今後

もご利用者だけでなく、職員にも興味を持ってもらえるようメニューを考えて、続けていく予定です。皆様ご協力をよろしく願います。四月には、厨房委託業者のテストティールの方々が各ユニットに出張し握り寿司を振る舞ってくれます。楽しみにしててください。(兼田)

**◆研修委員会**

三月八日に看取り研修を行いました。自分が考える看取りとは…と各自で考え、グループで出し合いました。「好きな食べ物を食べて頂く」「いつも口の中・体をきれいに」「看護師と連携して少しでも長い期間、入浴して頂く」「好きな音楽や家族との時間を大切に」などの意見が出ました。今までの実際の取り組みでは、お寿司が好きな方だったので回転ずしに行ったり、行けなくなってから



はスタッフが買いに行ったり、カットプラimenが好きだった方には家族にご持参いただきトロミをつけて食べて頂く、など工夫が語られました。宝塚ちどりの看取りマニュアルを読み返し、改めてケアの大切さを学ぶとともに、看取りの対象であってもなくとも、同じ介護が提供されるんだ、と確認できました。質問では、点滴や酸素吸入などの医療行為が余命に与える影響や、看護職員が、人生に与るとどれくらいの時間が残っているのか、を見極める難しさなどについて共有しました。外国人ケアスタッフの参加が多かったので「看取り」の基本的な理解を重視し、徐々に深みや、幅が出せるよう研修を重ねていきたいと思っています。(岩井)

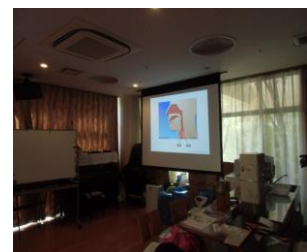


**◆地域交流委員会**

地域交流委員会では三月二十四日(土)介護技術講習会を開催致しま

した。今回は宝塚第一病院の摂食・嚥下障害看護認定看護師の土橋智晴様を講師でお招きし、摂食・嚥下について詳しく講習をして頂きました。摂食・嚥下のメカニズムや嚥下障害が引き起こす問題、口腔ケアの必要性・食事介助のコツなどを学んだだけでなく、嚥下に関する実体験も行い参加者の方々からもわかりやすい講習で参加してよかったとのご意見を多数頂きました。

実体験では、口の中にお茶を含み口を閉じない状態で水を飲み込むことができるか?をやってみると、皆さんから「これは出来ないわ。難しい」などの声が出ており、唇を閉じるという普段何気なく行っている動作が、こんなに重要な事だと改めて認識しました。





嚥下力の低下されている方が、一口で食べて頂ける適量のグラム（五グラム）の量を、実際にゼリーをすくって試してみると、以外に少量だという事もわかりました。今回の研修を通じて、食事がいかに緻密な運動であるかを学ぶことができました。食事は「おいしく」「楽しく」が大前提です。



日頃からたくさん話をして器官を鍛え、いつまでもおいしく、楽しく食事ができるようにしたいものです。

（橋本）

### ◆事故防止委員会

今年度に発生した事故・ヒヤリハットの集計を行いました。二〇一七年度（平成二十八年）の事故発生件数と比較すると、約百件減少していることがわかりました。特に「皮下出血」等の外傷の事故・「服薬忘れ・配役ミス」等のお薬に関わる事故が大きく減少しました。平成二十九年

度は、①職員を対象にした研修の実施②委員会のメンバーが毎月ユニットのラウンドを行い事故の対策がしっかりと行えているか・介助方法に問題はないか確認③ユニットの看護師が参加・助言をし、お

薬に係る事故・ヒヤリハットの予防をする。三本柱を軸に活動してきました。対策が可能な事故・ヒヤリハットが的確に予防されてきた結果だと感じております。平成三十年度もご利用者の皆様の生活がより安心・安全なものになるよう、より一層努力してまいります。

（田中）



### ◆広報委員会より

新年度より広報委員長に就任いたしました長田和孝と申します。昨年度も当広報誌「なごみ」をご覧頂きありがとうございます。新年度より委員会が再編成となり新たなメンバーになりました。今後とも家族、ご利用者に楽しんで頂けるような施設広報誌を目指して、作成していきたいと考えております。何卒よろしくお願い致します。

### ◆編集後記

今年の桜は、せっかちなんでした。例年より早い開花でしたが、みなさん、お花見を楽しまれましたでしょうか。私事ですが、開花の予報を大きく外してしまい、桜のじゅうたんでのお花見になりました。



四月というと、新しい生活のスタートの方も多いでしょうか。私たちスタッフ一同、新しい気持ちで頑張っていきたいと思えます。（加茂）